



中村あさとさん 当選! 公約実現に全力でとりくみます

日本共産党市議団 6人でがんばります!

8月3日告示、8月10日投票の市長選挙では中津たかしさんは残念ながら及びませんでした。同時に行われた市会議員補欠選挙(定数2)では中村あさとさんが、20587票を得、当選しました。子どもの医療費助成制度の拡充や若者の雇用など訴えてきた公約を実現するために6人の市会議員団で力を合わせてがんばります。どうか、今後ともよろしくお願いします。



久しぶりに雷雨の伴う梅雨明けだったのに、梅雨が逆戻りし、いつまでも蒸し暑い日が続いた今年の夏。体調のすぐれない方も

多かったのではないのでしょうか。おまけに台風の襲来により、地域の夏祭りが中止になったり変更になったりもしました。豪雨による浸水が北海道や京都府を襲い、広島では土砂災害で多くの人命が失われました。心からご冥福をお祈りいたします。

和歌山市も他人事ではありません。雨の降り方も変わってきていることで防災意識を改めること、そして、まちづくりのあり方を根本から考え直す時に来ています。9月議会でもその問題を議論したいと思っています。



←画像は、集団的自衛権を行使するための閣議決定に抗議し、その決定の取消と憲法の恒久平和、憲法9条を守ることの大切さを街頭から訴える日本共産党議員団。中村朝人市議は選挙中に訴えた「中学卒業までの子供たちの医療費の無料化」「高く支払うことのできない国保料の引き下げ」「市経済浮上対策として、住宅リフォーム制度の制定」などの実現に力を合わせ、実現しましょう、と訴えました(8/15)

中村朝人市議は選挙中に訴えた「中学卒業までの子供たちの医療費の無料化」「高く支払うことのできない国保料の引き下げ」「市経済浮上対策として、住宅リフォーム制度の制定」などの実現に力を合わせ、実現しましょう、と訴えました(8/15)

中村あさとさんが和歌山市議に当選したことで多くの方から「よかったね」と喜びと励ましの声をいただく。注目されていたんだと思う。中村さんは若い世代の代表だから、子育てや若者の就労問題を改善することは自身の要求でもあり、大きく前進させてくれるだろう。障害者福祉分野で生きてきた自分としては思うところも多い。例えば障害のある方が街に出かける際、付き添

日本共産党

かとうなおと 加藤直人

です



自身は半額で乗車できるが結局、一人前払うことになる。障害者の社会参加を促す側面もあるのなら、ヘルパーさんの運賃を障害者にかぶせるのは解せない。些細なことだが、改善の積み重ねで暮らしが生き生きすることはない。障害のない他の者との平等の権利は決して障害者の特権ではない当たり前の平等権なのだから。



→小倉地域での
宣伝の1コマ

69回目の終戦の日(8/15ブログより)

8月15日と聞いて、何の日か知らないと答える人が増えているそうです。それは、8月6日でも9日でも同じだそうです。かくいう私も戦争を知らない世代には違いなく、両親や祖父母から聞いた話しか知りません。

今日はまさに、その8月15日、終戦の日です。たとえ聞いた話であったとしても、それを語り継いでいくことを通して、私たちはお互いを戒めあうことはできるのではないのでしょうか。同じ過ちを繰り返さないために。午前中、松坂美知子議員、加藤直人さんと3人で街頭宣伝に出ました。

憲法9条を守りぬこうとの決意を新たに!

9月議会のお知らせ

新市長が決まったので、9月8日は臨時議会が開かれ市長から所信表明が行われます。その所信を受けて、9月18日から開会予定の9月補正議会では、代表質問と一般質問が行われます。

通常であれば2月の当初議会で行われる代表質問ですが、前任の大橋市長がすでに不出馬を明らかにしていたため、9月議会まで繰り延べることになっていました。9月議会では中村あさとさんが加わった6人全員が質問に立ちます。お時間のある方はぜひ、傍聴にお越しください。なお、インターネットでもライブ中継で、また、その数日後、録画で見ることができます。



畑中正好さん (62才)
田辺市生まれ、田辺市在住です。

8月18日「ゆたかて住みよい和歌山県をつくる会」は、11月13日告示30日投票で行われる県知事選挙に畑中正好さん(無所属・日本共産党推薦)を擁立することを発表しました。

畑中さんは1974年に野間友一法律事務所就職。現在は和歌山合同法律事務所勤務に就く。

畑中さんは「今、安倍政権が行おうとしていることは、県民の暮らしに直結する。国にきちんとものが言える権勢をみなさんと一緒に実現したい」と述べています。そして、紀淡連絡道路の建設やオスプレイの参加を防災訓練に認める現在の県政から憲法を生かす、県民が主人公の県政へ転換することを訴えています。

県知事候補に畑中正好さん

《無料法律相談》

9月17日(水) 13:00~
9月30日(火) 18:00~

◆事前予約が必要です。

TEL 435-1113

(市役所控室 森下さち子まで)

森下さち子のブログ 「さっちゃんはね・・・♪」 QRコードでアクセスしてね。



このコードを読み込むと森下ブログにアクセスすることができます。



http://sachikogo.exblog.jp/



連続テレビ小説「花子とアン」が大詰めを迎えています。太平洋戦争に突入する時代。花子はラジオ放送で「子どもの新聞」を担当しています。しかし、戦局が厳しくなり、放送も統制を強めていく中で子どもたちにも戦争のことばかりを知らせる内容となっていくようです。花子は子どもたちにわかりやすい言葉で、そして明るいニュースを届けようと努力しますがそれが許されません。先日は飼い犬を軍用犬として差し出し、娘がいなくなつた犬を探すシーンがありました。

もはや日本は後戻りできないところまで来てしまい、ラジオ放送も国の任務となつてしまっています。

その少し前、女学校の校長先生が花子に「平和か、戦争かは、我々の上にかかっている課題であることをよく考える必要がある」と言っていたのが印象的でした。亡くなった小沢昭一さんも仰つたそうです。「戦争つてものは、なつちやつてからでは止められません。なりそうな時でもダメ。なりそうな気配が出そうな時に止めないと」と。

